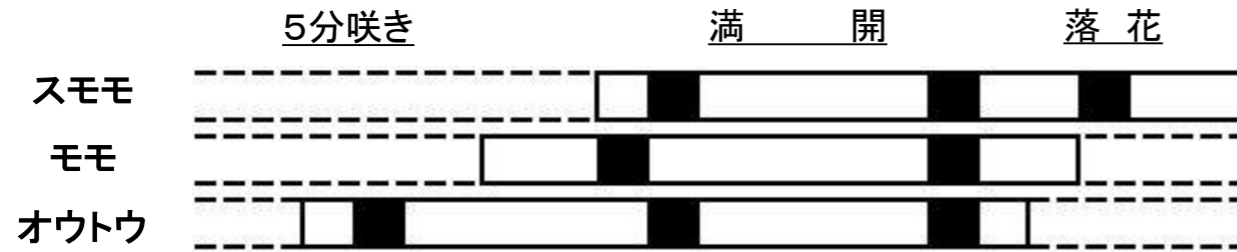


# 人工受粉

## 1. 時期



## 2. 天候

- ・ 15℃以上（午前9時～午後3時）で、風がない日に行う。  
（自然開花の花粉が良く出る日）
- ・ 開花期に天候不順や低温のあった年では、丁寧に人工受粉を行う。

## 3. 高温時の花粉

### 1) 日なたと日陰による花粉生存率の割合

		開始 AM 10:00	4時間後 PM 2:00	7時間後 PM 5:00
モモ花粉	日なた	78%	28%	11%
	日陰	78%	64%	60%
		開始 AM 10:00	4時間後 PM 2:00	7時間後 PM 5:00
オウトウ花粉	日なた	47%	15%	5%
	日陰	47%	39%	32%

### 2) 日なたと日陰による温度差

時間	条件	外気温	日なた	日陰
午前	10時	20℃	33℃	20℃
	11時	21℃	35℃	21℃
	12時	21.5℃	32.5℃	22.1℃
午後	1時	23.5℃	35℃	23.6℃
	2時	25℃	31℃	24.8℃
	3時	22.5℃	21℃	23.1℃
	4時	19℃	17℃	19.9℃

## 4. 受粉作業時の花粉

- ・ 花粉は高温に非常に弱いので、受粉作業時の花粉は、直射日光に当たらないよう段ボール箱等で日陰を作って使用する。

## 5. スモモの交配親和性

花	花粉	大石早生	ソルタム	サマービュート	サマーインジエール	太陽	ハリウッド	ホワイト
大石早生			○	○	○	○	○	○
ソルタム		○		○	○	○	○	○
サマービュート							○	
サマーインジエール							○	
賞陽							○	
太陽							○	○

## 6. モモで受粉が必要な品種

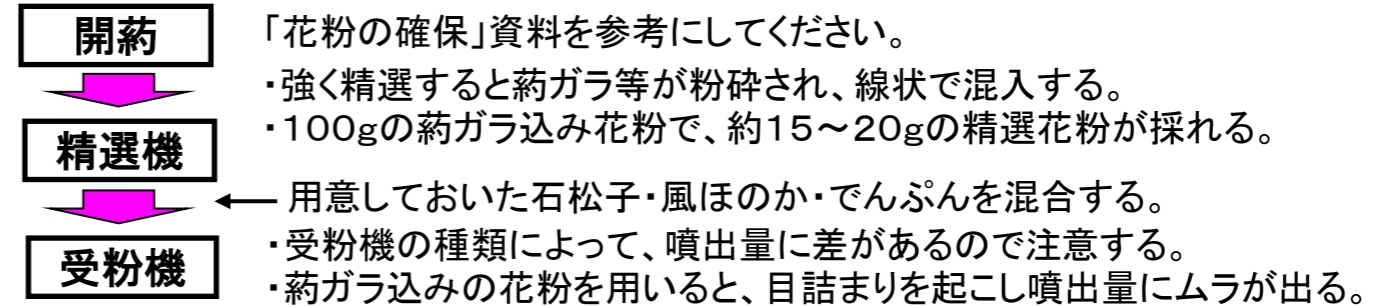
- ・ 「夢しずく」、「浅間白桃」、「一宮白桃」、「川中島白桃」、「白桃」
- ・ これ以外の品種についても、結実安定のために1回は受粉を行う。

## 7. オウトウの交配親和性の良い組み合わせ

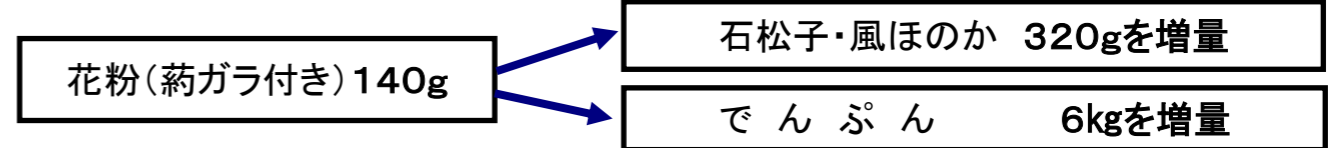
- ・ ほとんどの品種が良く、組み合わせは問題ない。

## 8. 受粉機を使用した受粉

- ・ 作業工程（ハツタ製）



- (1) 成園10aあたり使用量は、6kgの花蕾（10kg詰めミカン箱満杯2箱）が最低必要である。（薬ガラ付きの開薬花粉で、140g前後採れる。）



- (2) いずれの増量剤の事例では、花粉と増量剤の比率に幅があるが、花粉の量が多いほど結実が良好になる（でんぷんの事例では、花粉（薬ガラ付）とでんぷんの比率が12～43倍と非常に幅があった）。
- (3) 石松子・風ほのかの量を増やせば、散布時間が長くなり丁寧な受粉ができる。
- (4) 機械での受粉作業に慣れない場合は、噴出量を少なくして散布時間を長くすると良い。
- (5) 散布時間は、20～30分/10a（10年生樹で90～120秒）を目安とする。
- ★開花期が天候不順の場合は、毛ばたきでの人工授粉により結実安定を図る。

- ・ 1kgの生花から100gの生薬（薬ガラ込み）が採れる。開薬すると乾燥して、1/5程度になる。
- ・ 開薬した花粉（薬ガラ込み）100gから、精選機によって精製花粉を15～20g採れる。
- ・ 生花3kgから、薬ガラ込み花粉を60～70g採ることができ、80g入れの石松子・風ほのかの容器で0.5本弱になる。